

IV 各エリア部会活動報告

宮崎・東諸県エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について」

2 主な研究・活動の内容

期 日	事業名	活動の内容	会 場
6月 12日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第1回役員会	・令和6年度の事業報告・決算報告 ・令和7年度の事業計画・予算確認 ・宮崎東諸県エリア部会研修会について	大宮地区交 流センター
7月 23日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第2回役員会	・エリア研修会事前打ち合わせ	佐土原総合 文化センタ ー
7月 28日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第3回役員会 エリア研修会	・合同研修会の打ち合わせと準備 ・合同研修会への参加 組織等説明：三股中学校 小野 智弘 指導教諭 発表：綾小学校 大西 淳 教諭 講話：宮崎県中央発達障害者支援センター 水野 敦之 氏	佐土原総合 文化センタ ー
1月 22日	◆県特研連宮崎・東諸県 エリア部会 第4回役員会	・令和7年度の年間反省 事業報告・会計報告作成確認 ・令和8年度役員・役割分担等確認事業計 画案・予算案作成確認	大宮地区交 流センター

3 主な研究成果

今年度は、役員会や研修会を予定通り実施することができた。役員会の中で、会計や規約についての意見が出て、改善すべき点が出てきたため修正を行った。

今年度の宮崎・東諸県エリア部会の研修会は、宮崎市教研と宮崎県情研と合同で実施した。研修担当は東諸県の小中学校であったため、東諸県の理事と連携しながら準備を進めていった。

研修会では、三股中学校の小野指導教諭から宮崎県の特別支援教育に携わる組織等の説明があり、理解が深まった。実践発表では、「初めての自由進度学習～特別支援的視点からのアプローチ」と題して、綾小学校の大西教諭が発表を行った。児童の意欲を高める工夫がたくさん散りばめられており、質問も活発に出された。水野氏の講演では「発達障がいの特性と気になる行動への対応」について、具体的な事例をもとに学ぶことができた。会場のロビーには大西教諭の教材や、特別支援教育に関する書籍が展示され、大変有意義な研修会となった。

来年度の研修会は、清武せいりゅう支援学校が担当である。

日南・串間エリア部会

1 研究主題

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対応するための専門的指導力の向上と特別支援学校・小・中学校等における特別支援教育の充実を図る。

2 主な研究・活動内容

(1) 年間活動報告

期 日	活 動 内 容	場 所
5月26日 (月) 15:00～16:00	○ 第1回日南・串間エリア部会役員会 ・総会、研修会について ・昨年度事業報告 ・今年度事業計画及び予算案について	日南くろ しお支援 学校
7月3日 (木) 15:00～16:30	○ 第2回日南・串間エリア部会役員会 ・令和7年度日南・串間エリア部会総会資料について ・総会・研修会の役割分担について ・今年度の各地区研修充実費の活用について	日南くろ しお支援 学校
7月30日 (水) 9:00～12:00	○ 令和7年度日南・串間エリア部会総会、研修会 ・日南・串間エリア部会総会 ・研修会（講演会）※ Zoomによる研修 演題：「高等特別支援学校について～特別な支援を要する児童・生徒の進学、就労を見据えた指導・支援・連携の在り方～」 講師：特別支援教育課 指導主事 秋吉 研吾 副主幹 黒葛原美紀 主幹 花野 寿臣 日南くろしお支援学校 進路指導主事 細田 勲男	日南くろ しお支援 学校及び 各学校
11月13日 (木) 15:00～16:30	○ 第3回日南・串間エリア部会役員会 ・研修会アンケート結果について ・次年度の県特研連関係研究大会について ・次年度の日南・串間エリア部会の方向性について ・研修充実費の受領	日南くろ しお支援 学校
2月5日 (木) 15:00～16:30 予定	○ 第4回日南・串間エリア部会役員会 ・活動内容、会誌、会計報告 ・次年度の日南・串間エリア部会の方向性について ・令和8年度日南・串間エリア部会の活動内容について	日南くろ しお支援 学校

3 主な研究成果

本年度の総会・研修会は、日南くろしお支援学校の食堂を会場とし、日南くろしお支援学校の会員は会場で、日南市と串間市の会員はそれぞれの学校でのZoom視聴で行った。研修会では、特別支援教育課の秋吉研吾指導主事、黒葛原美紀副主幹、花野寿臣主幹に「高等特別支援学校について～特別な支援を要する児童・生徒の進学、就労を見据えた指導・支援・連携の在り方～」と題して講演をしていただいた。日南くろしお支援学校の細田勲男進路指導主事には、「南那珂地区の進路状況について」という題で、報告していただいた。会員の先生方からは、「令和8年度から開校予定の日南高等特別支援学校、日南くろしお支援学校日南校の具体的な教育課程やインクルーシブ教育について知ることができた。」「早い段階での就労を見据えた支援の大切さが分かり良かった。」等、好評であった。

今後は、研修会で学んだことを各学校で実践するだけでなく、児童・生徒の将来の進学、就労を見据えた指導・支援の充実を図っていきたい。

西都・児湯エリア部会

1 研究主題

「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援教育の充実」

2 主な研究・活動の内容

(1) 年間活動報告

① 第1回役員会

ア 6月3日(火)

(ア) 事業計画(決裁)

(イ) 収支予算案(決裁)

(ウ) 研究大会計画検討

② 令和7年度西都・児湯エリア部会研究大会

ア 8月1日(金) 12:30~16:00

(ア) 開会行事

(イ) 実践発表

α 内容 「事例紹介 外部との連携 つなぐ・つむぐ・つづける」

発表者 川南町町立国光原中学校 下川 奈緒子 教諭

β 内容 「一人一人の特性に応じた指導の実現に向けた通級指導と通常学級の連携」

発表者 西都市立妻北小学校 白水 亜利沙 教諭

(ウ) 講演

α 演題 「発達や愛着の問題を抱えている子どもの理解と支援について」

講師 県立宮崎東高等学校 定時制課程昼間部 高校通級メンター 熊本 靖 教諭

(エ) 閉会行事

③ 第2回役員会

ア 2月2日(月)

(ア) 令和7年度事業報告及び収支決算報告の審議

(イ) 令和8年度事業計画案及び収支予算案の審議

(ウ) 令和8年度役員の確認と西都・児湯エリア部会研究大会について(案)

3 研究大会の報告(主な研究の成果)

本年度の西都・児湯エリア部会研究大会は、西都市民会館で実施され、115名の参加があった。実践発表①では、川南町立国光原中学校の下川奈緒子教諭が実践事例紹介をし、生徒が将来、就労していくためにどのように外部の関係機関と連携を行ったか、わかりやすく説明していただいた。実践発表②では、西都市立妻北小学校の白水亜利沙教諭に「一人一人の特性に応じた指導の実現に向けた通級指導と通常学級の連携」という表題で、通級指導での具体的な取組を動画を交えて説明していただいた。とても分かりやすい事例で、今後の授業実践にとっても役立つものであった。

後半の講演では、県立宮崎東高等学校定時制課程昼間部高校通級メンターの熊本靖教諭が「発達や愛着の問題を抱えている子どもの理解と支援について」の演題で、多くの資料を元に愛着障がいについて分かりやすく解説していただいた。講演会後の参加者アンケートでは、「愛着障がいのある児童生徒への関わり方や適切な対応の仕方について理解することができた。」などの感想があり、講演会が好評だったことがうかがえる。今回の2つの実践発表と講演は、今後の授業実践においてとても参考になるものであった。

都城・北諸県エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「エリア部会と小中特研の地区特研との連携の在り方について」

2 活動報告

(1) 年間活動報告

月	日	エリア部会の活動	小中特研の活動
4	14 (月)	○ 会長・事務局引継【都城市立川東小学校】 ・ 昨年度担当者からの引継	
5			5/1 都城市・三股町合同教育研究会特別支援教育部会主任会 【祝吉地区公民館】
6	12 (木)	○ 総会に向けての打合せ【都城市立川東小学校】 ・ エリア部会と小中特研の活動の明確化について ・ 役員の確認	11/6 都北地区特別支援教育会第2回理事会・役員会 【川東小学校】※同時開催
7	4 (木)	○ 都城・北諸県エリア部会総会【祝吉地区公民館】 ・ 都北地区特別支援教育研究会との連携 ・ 令和6年度の事業計画及び収支決算 ・ 令和7年度の事業計画及び予算案	7/4 都北地区特別支援教育研究会総会 【都城市立川東小学校】 ※ 同時開催
7	25 (金)	○ 都城・北諸県エリア部会研修会 【都城きりしま支援学校からハイブリット形式】 ・ 「子どもの実態と学習指導要領をつなぐ授業づくり」 熊本県立かもと稲田支援学校 教諭 後藤匡敬 氏	
11	7 (金)	○ 令和8年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会 第1回実行委員会【都城きりしま支援学校】 ・ 構想、日程、予算、スケジュール、役員の確認	11/6 都北地区特別支援教育会第2回理事会・役員会 【都城市立川東小学校】
12			12/4 都北地区特別支援教育研究会研修会【祝吉地区公民館】
1	15 (木) 19 (月)	○ 合同作品展【都城市 ウェルネス交流プラザ】 1/15(木) 作品搬入および作品展示 1/16(金)～1/19(月) 作品展示 1/19(月) 作品撤去および搬出	
2		○ 令和8年度宮崎県特別支援教育研究連合研究大会 第2回実行委員会【都城きりしま支援学校】 ・ 県特研連第2回理事会の提案に向けての打合せ	
3			3/ 都北地区特別支援教育会第3回理事会・役員会【川東小学校】

3 主な研究成果と課題

(1) 成果

- エリア部会と小中特研の都北地区特別支援教育研究会の活動の明確化を図ることができた。
- 令和8年度の県特研連研究大会都城・北諸県大会に向けて準備を進めることができた。

(2) 課題

- 特別支援学校と小中学校の研究の交流をより進めていく体制作りが必要である。
- 令和8年度の研究大会に向けて、より計画を進めていく必要がある。

小林・西諸県エリア部会

1 研究主題

「児童・生徒の実態に即した効果的な指導はどうあればよいか」

2 主な研究・活動の内容

期日	事業内容	場所	参加者
5月1日 木曜日	○ 第1回研修会（総会） ・ 令和6年度事業報告及び会計報告 ・ 令和7年度事業計画案及び予算案審議 ・ 役員改選	小林市中央 公民館 大集会室	役員と各小中学校の代表（特支 Co.）。支援学校は役員のみ。それ以外の会員は紙面決裁
6月3日 火曜日	○ 第1回事務局会 ・ 第2回研修会の計画及び役割分担 ・ 九特連長崎大会実践発表準備	小林こすも す支援学校	エリア部会役員 九特連発表者
6月19日 木曜日	○ 第2回事務局会 ・ 第2回研修会の計画・準備 ・ 九特連長崎大会実践発表準備	小林こすも す支援学校	エリア部会役員 九特連発表者
7月29日 火曜日	○ 第2回研修会 ・ 教育講演会 「愛着障害と学校教育～学びのゼロ地点としての愛着を考える～」 ・ 九特連長崎大会プレ発表 (第2分科会：細野中学校、第3分科会：小林こすもす支援学校)	小林市文化 会館 小ホール	エリア部会会員
2月12日 木曜日	○ 第3回事務局会 ・ 本年度反省並びに次年度計画案検討 ・ 次年度合同研修会の内容検討	小林こすも す支援学校	エリア部会役員

3 主な研究成果

(1) 成果

本年度より、西諸県地区特別支援教育研究会と小林こすもす支援学校が連合し、「宮崎県特別支援教育研究連合西諸県エリア部会」が組織された。本部会の事務局は、西諸県地区特別支援教育研究会と小林こすもす支援学校が1年を任期として交互に設置することとなり、初年度の本年度は小林こすもす支援学校が担当した。

本年度は第2回研修会の中で、「愛着と学校教育」をテーマとした教育講演会を行った。近年、児童生徒が有する困難さの背景に愛着の問題が考えられるケースも見られることから、事後アンケートでは「愛着に関する基本的な知識を得ることができてよかった」「具体的な支援方法がもっと知りたかった」との声が多く聞かれ、関心の高い内容であることがうかがわれた。また、8月に開催された九州地区特別支援教育研究連盟研究大会における分科会のプレ発表も実施した。多くの会員から様々な意見や激励を受け、大会では充実した発表を行うことができた。

(2) 課題

今年4月、本部会が発足し特別支援学校と小中特研が連携しながら部会運営を行ったが、県立学校と小中学校とで校内支援システムが異なるため、連携・連絡を取る上で困難な部分があった。今後も連合体として活動していくため、連携・連絡方法の工夫が必要である。また、次年度は、全会員が合同で協議する形式の研修会を実施する予定である。本地区の特別支援教育に関する課題と会員のニーズに即したテーマを設定することで、小林・西諸県エリアの特別支援教育力のさらなる向上を目指したい。

日向・東白杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「個に応じた教育的ニーズに応える特別支援教育の充実」

2 主な研究・活動の内容

(1) 組織

日向・東白杵地区（日向、門川、入郷）の小・中学校の学校長、及び特別支援学級・通級指導教
担当職員の会員、日向ひまわり支援学校長、及び職員

(2) 年間活動報告

期日	事業名	主な内容	場所
7月7日（月）	日向・東白杵エリア部会 総会・役員会	令和6年度事業報告 令和6年度決算報告・監査報告 令和7年度事業計画 令和7年度予算案 他	日知屋東小学校
8月5日（火）	エリア部会研修	南九州大学の石本隆士先生による 「特性に応じた自立活動の実践」 講義	日向ひまわり支援 学校
2月19日（木）～ 2月27日（金）	なかよしアート展	各学校の児童生徒の作品紹介 学校紹介パネル展示	日向市東郷 公民館（さくら館）
3月6日（金）	日向・東白杵エリア部会 役員会	令和7年度事業報告 令和7年度決算報告・監査報告 令和8年度事業計画案 令和8年度予算案 他	日向ひまわり支援 学校

3 本エリア部会の成果と課題

(1) 成果

- 本年度のエリア部会研修会は、数年ぶりに部会独自で開催することができた。講師に、南九州大学人間発達学部子ども教育学科の石本隆士先生をお迎えして、「特性に応じた自立活動の実践」について対面及びオンラインで約100名の会員が受講した。認知や行動、感情に対する支援の理論を具体的方法や実践例を交えて、お話していただいた。受講者アンケートの結果においても、今回の研修に満足する結果が得られた。
- 本年度の研修内容や日時は、昨年度中に方向性が決まっていたため、計画的に取り掛かることができた。研修場所は、日向ひまわり支援学校をお借りして行うことができたため、特別支援学校の教職員の協力を得て、会場設営や駐車場の確保、当日の運営などをスムーズに行うことができた。

(2) 課題

- 事務局が小・中学校であったため、新学期に入ってからの役員決定になり、引継ぎ等の時間を要した。会長と事務局、会計の学校が違うため、連絡調整や意思疎通等に時間を要した。
- 事務局の引継ぎや連絡についても、確実にするためにはどのようにすればよいのかを、小・中学校と特別支援学校とで確認をしたい。

延岡・西臼杵エリア部会

1 研究主題（テーマ）

「児童生徒の生きる力を育む指導の在り方」

～教育的ニーズに応える特別支援教育の在り方について～

2 主な研究・活動の内容

本年度も延岡地区と西臼杵地区内の特別支援学校と小中学校の連携を緊密にするとともに、特別支援教育に関する実践研究・調査研究及び特別支援教育の充実・振興を図ることを目的として、以下の活動に取り組んだ。

期 日	事 業 名	主 な 内 容
6月9日（月）	第1回事務局会	・令和6年度の事業報告、決算報告 ・令和7年度活動方針・事業計画、予算案について ・総会、夏季研修会、合同作品展について
8月7日（木）	宮崎県特別支援教育 研究連合延岡・西臼 杵エリア部会夏季研 修会	・夏季研修会は講演会を実施 ・エリア部会総会については、総会議案を各学校 に配付し、Google フォームによる書面議決と した。（7月31日締め切り）
9月26日（金）	合同作品展 運営委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・役割分担の確認等
11月20日（木）	合同作品展 第1回実行委員会	・前年度からの引継ぎ事項の確認 ・係分担・係の内容の確認など
1月24日（土） ～26日（月）	合同作品展	・各学校の幼児児童生徒の作品展
1月26日（月）	合同作品展 第2回実行委員会	・係からの反省 ・次年度に向けて
2月下旬～3月下旬	第2回事務局会	・活動総括と次年度の活動計画について ・次年度事務局の確認及び引継事項の確認

3 主な研究成果

本年度の総会は、上記「活動内容」にある通り、部会所属校に総会議案を事前配付し、書面議決をGoogle フォームでとる形で成立させることとなった。夏季研修会については、講師を招き、講演、質疑・応答の時間を設け実施した。当日は、会場参加とオンライン参加の職員がおり、ハイブリッド型の研修会となった。合同作品展は、例年延岡市内の会場において実施されており、500名を超える来場者があり、地域に根ざした取組である。今年度も、カルチャープラザのべおかを会場とし、部会所属校に在籍する幼児児童生徒が製作した作品を3日間に渡って展示する予定である。来場者からは、称賛や励ましの感想を多くいただいております、特別支援教育の理解・啓発に大きく役立っている。

エリア部会としては、その企画・運営において、小中学校と特別支援学校の担当者が綿密な打ち合わせを重ねており、双方の交流を深める機会にもなっている。今後も夏季研修会や合同作品展等の実施により、延岡・西臼杵エリアの特別支援教育の推進に寄与できるよう努めていきたい。